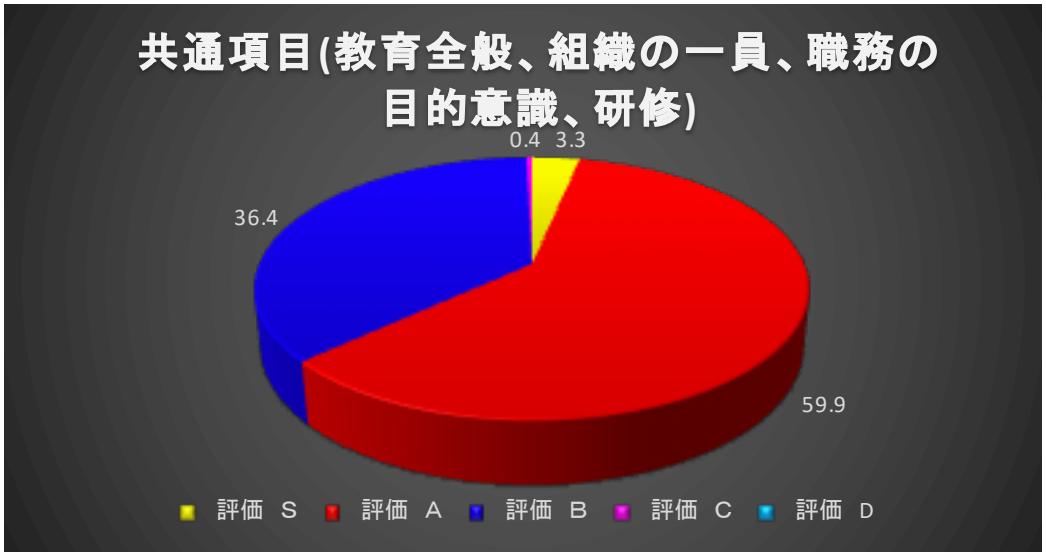
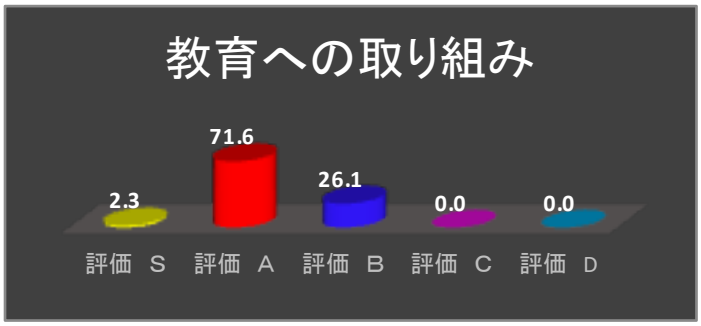
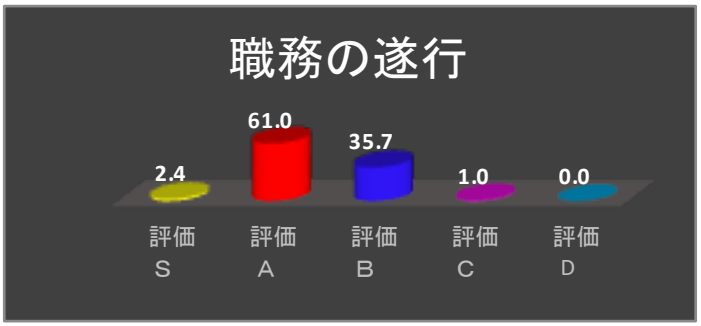
令和3年度自己評価の分析

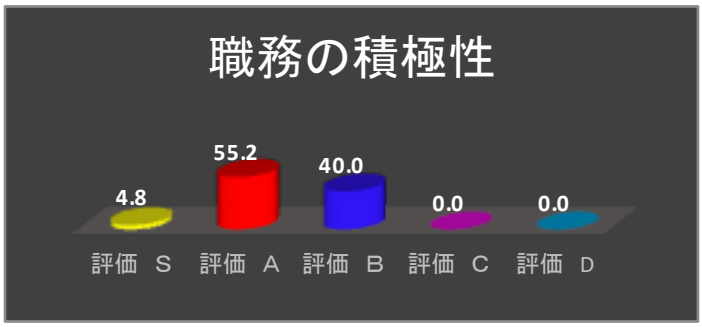


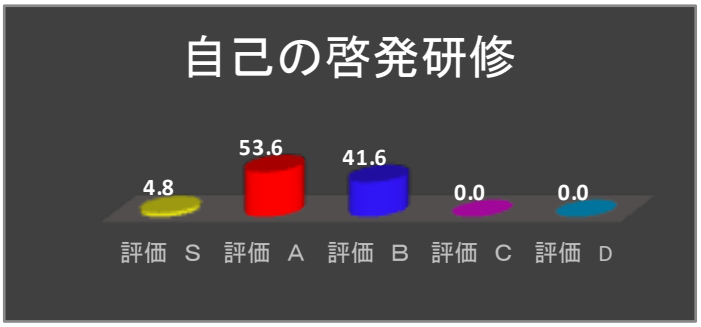
評価基準

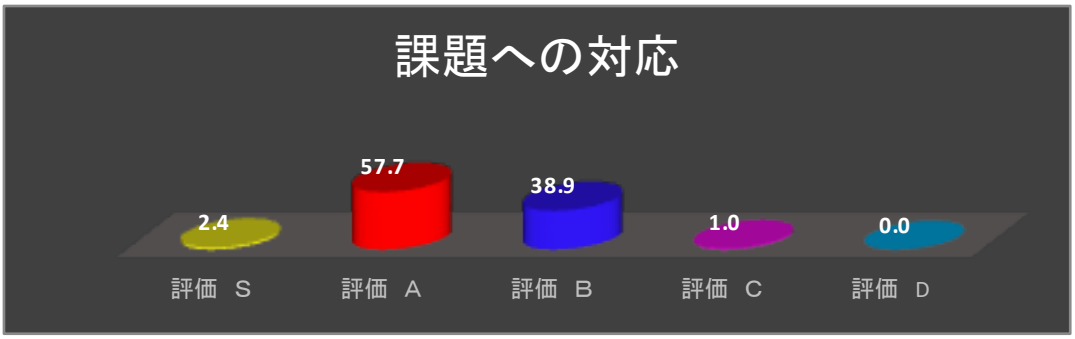
職務遂行上必要とされる水準を
S:大幅に上回っている。
A:上回っている。
B:ほぼ達成している。
C:達成されていない。
D:大幅に下回っている。









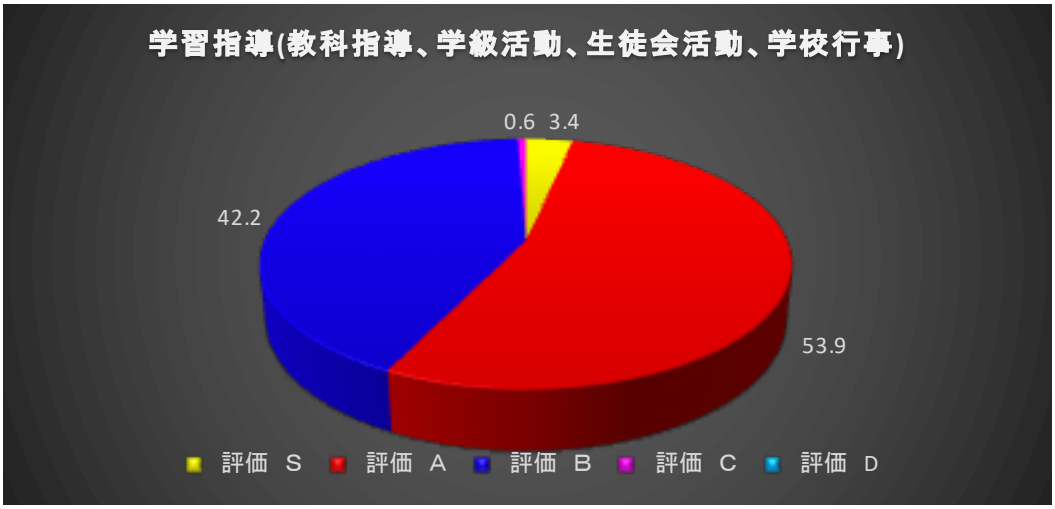


結果についての分析と改善策

全教職員が授業・部活動・学校行事等を中心とした本校の教育活動に、大半の生徒が真摯に取り組み、日々努力している。進学・就職共に生徒の目標達成と同時により高い目標設定も必要になる。入学から出口まで生徒一人ひとりに教員が持てる力を注ぎこんでいる。

目標が人を育て、達成感が人を大きくする。全生徒の出口を保障していくこと、さらに世界を舞台に活躍するリーダーや、学術文化の向上と国際社会の平和、発展に貢献する有能な人材を育成することが、青森山田中学高等学校の中高一貫教育である。

令和3年度自己評価の分析



評価基準

職務遂行上必要とされる水準を

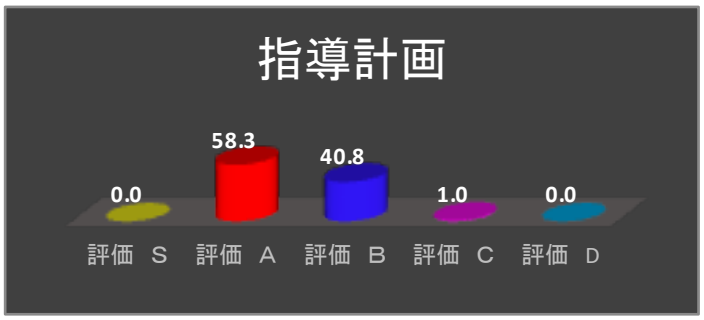
S:大幅に上回っている。

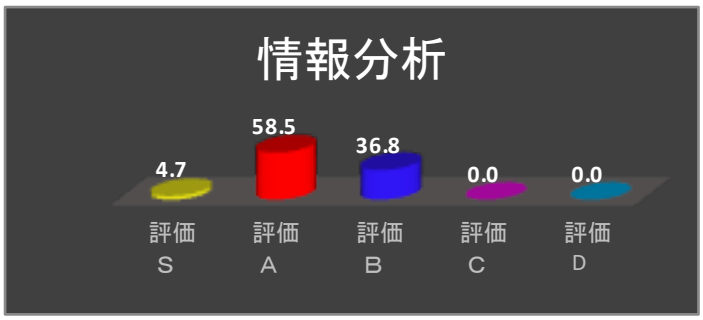
A:上回っている。

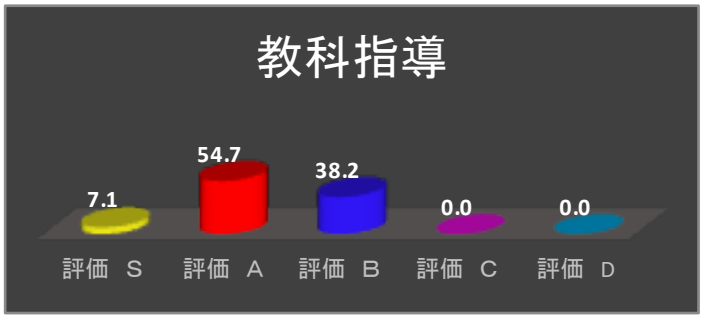
B:ほぼ達成している。

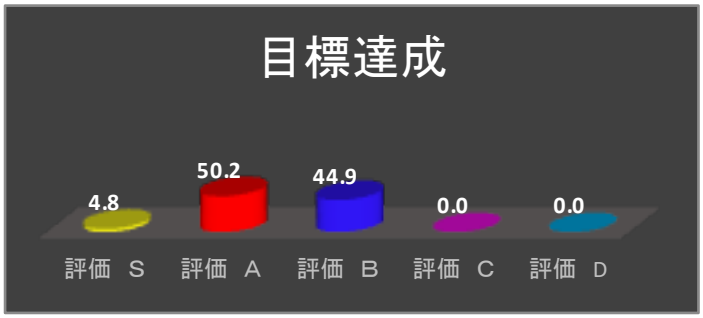
C:達成されていない。

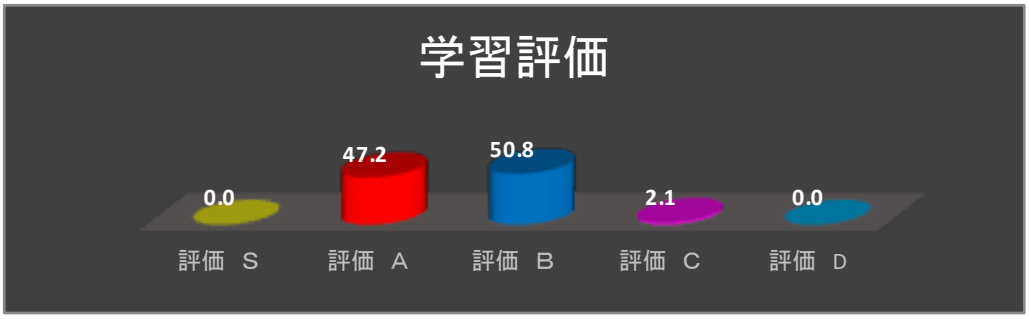
D:大幅に下回っている。









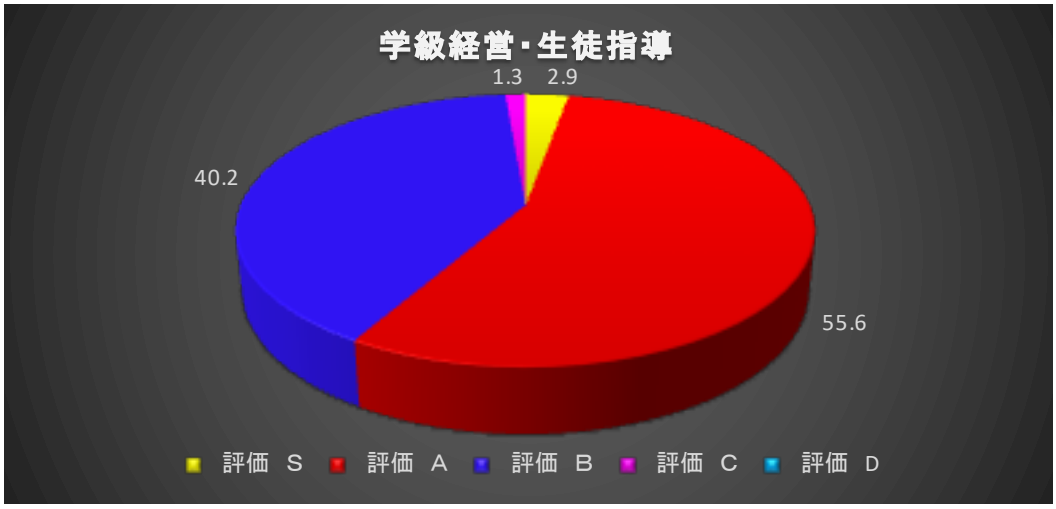


結果についての分析と改善策

朝学習を取り入れる等、質の高い学力の育成を図る学習指導の推進を目指す。アクティブラーニングを積極的に導入し、生徒が主体的に協働的に参加して自分の意見を発表することが大切である。規律ある進学校を目指して、普通科のキャリアアップコースではインターンシップを含むキャリア教育を展開し、さらに各種検定取得に向けた学習を実施する。普通科スポーツコースのアドバンスクラスではスポーツコースから積極的に大学進学を目指している。

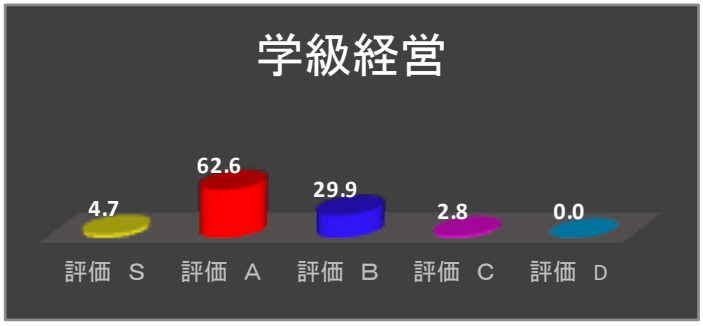
教科間での連携とともに、生徒の実態を踏まえた目標設定・評価を行うことが必要になる。生徒理解のため、方策を探りながら、授業評価の実施、改善すべきところは積極的に問題解決へ取り組むことが必要になる。そして、生徒の能力に応じての学習活動や興味・関心を生かす学習など、生徒がわかる授業の一層の工夫に努めていく。

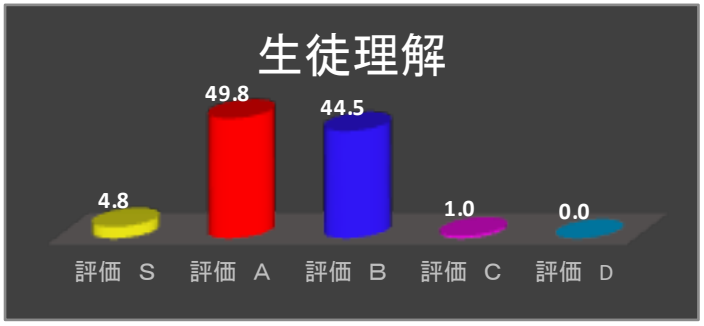
令和3年度自己評価の分析

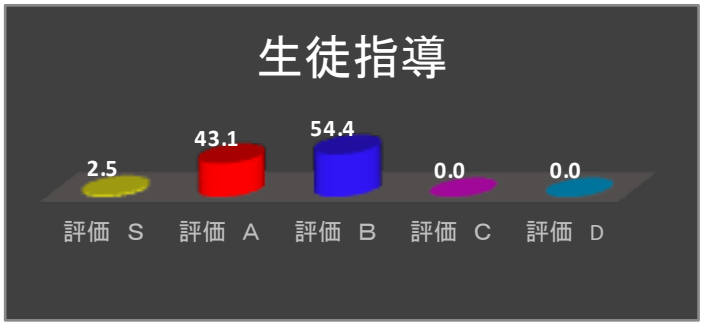


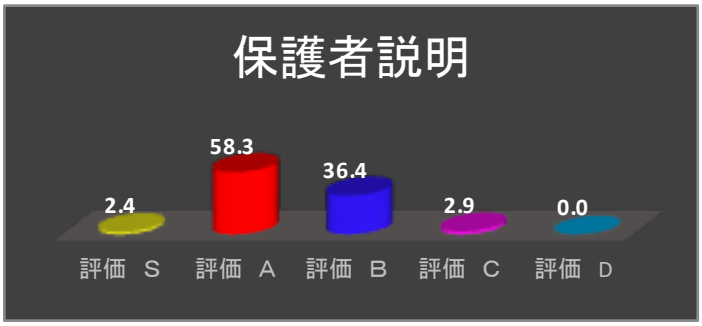
評価基準

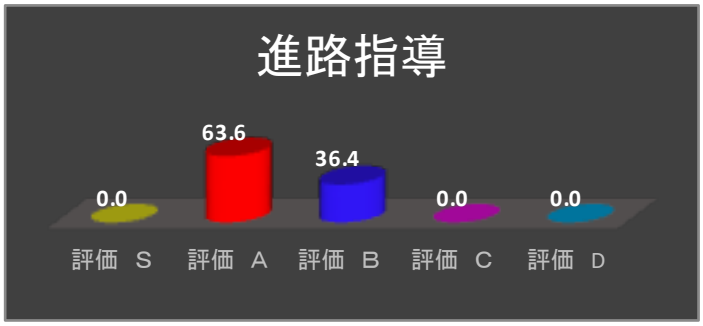
職務遂行上必要とされる水準を
S:大幅に上回っている。
A:上回っている。
B:ほぼ達成している。
C:達成されていない。
D:大幅に下回っている。

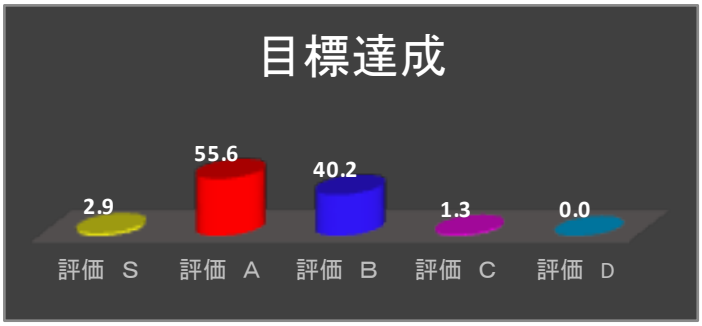












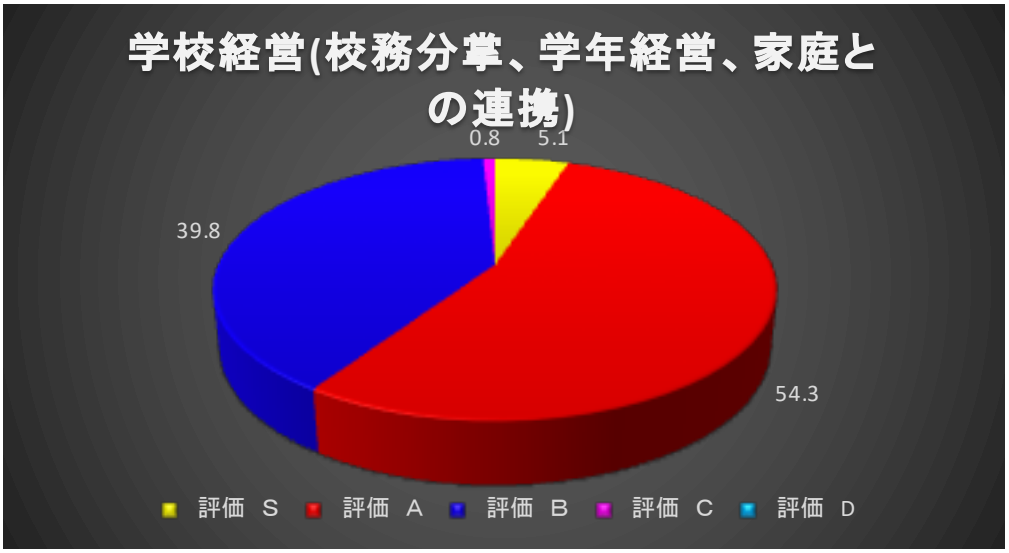
結果についての分析と改善策

一人ひとりの生徒が、豊かな生活を送ることができるよう、家庭や地域社会及び関係機関等との連携を図りながら、心の結びつきを基調とした指導を行うとともに、問題行動等の未然防止、早期発見・早期（時）対応に努めている。

・基本的な生活習慣や自己指導能力を育成する協同指導体制の充実。
・生徒指導の機能を生かした学年・学級経営の充実。
・生徒理解に基づいた教育相談の充実。

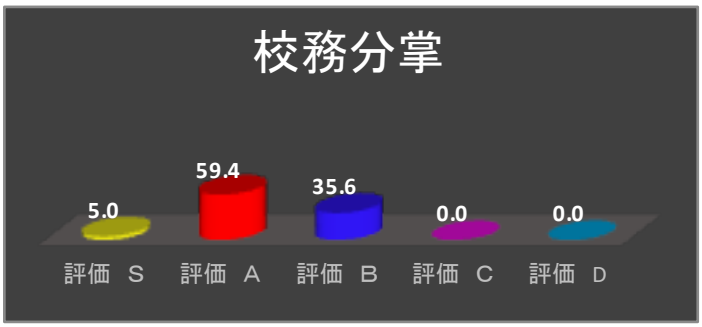
一人ひとりの人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、全ての生徒の社会的資質や行動力を高めるように指導、援助をおこなっていく。

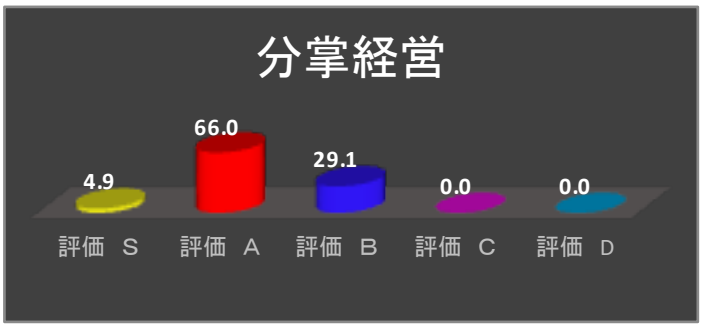
令和3年度自己評価の分析

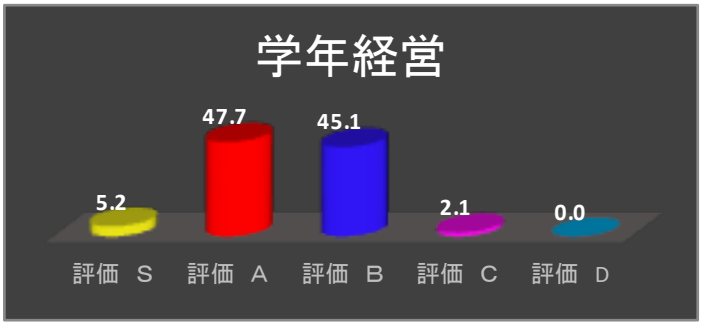


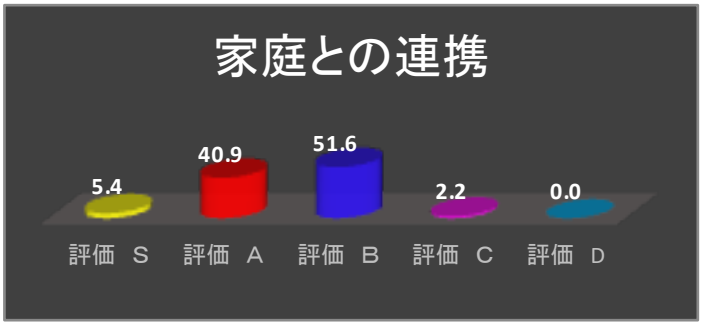
評価基準

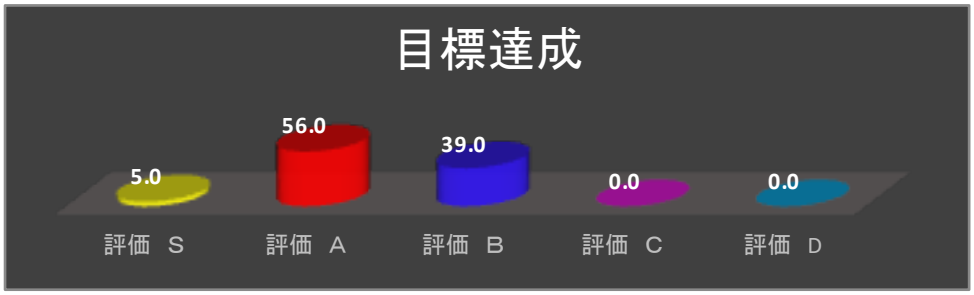
職務遂行上必要とされる水準を
S:大幅に上回っている。
A:上回っている。
B:ほぼ達成している。
C:達成されていない。
D:大幅に下回っている。











結果についての分析と改善策

生徒一人ひとりの能力、特性に合わせた学習指導をし、各種検定の資格取得に向け、担任、学年付、部活動顧問と一緒に指導している。

生徒・保護者等の期待にも応えられるようにアンテナを張り巡らせて情報収集をして、危機管理も含めて、生徒が個々の能力を発揮できる学校経営を目指していく。

学校の発展には、教職員の熱心な指導と保護者の協力が不可欠になる。学校の評価を高めるためにも、保護者からの学校に対する信頼度や満足度を高めていく。教育力を高め開かれた学校とするために、今まで以上に中高一貫教育事業の推進、高大接続連携の展開を積極的に進めていく。